1 はじめに

本製品を使用する前に知っておいていただきたい事を説明しています。

特長

● 10bit高画質A/D搭載
10bitのA/Dを搭載しているため、高画質で動画を取り込むことができます。

● ステレオ/2ヶ国語対応TVチューナー搭載
本製品に搭載のTVチューナーでステレオ/2ヶ国語の音声を楽しむことができます。

● Mpeg1/Mpeg2圧縮形式の予約録画が可能
ファイルサイズの小さいMpeg1/Mpeg2圧縮形式での予約録画ができます。

● 追いかけ再生機能（タイムシフト）搭載
追いかけ再生機能（タイムシフト）により、見逃したシーンを後から見ることができます。

● iEPG機能搭載
インターネット上の番組表を利用して、簡単に録画できます。

● reserMail同梱
外出先から携帯電話（iモードまたはJ-SKYまたはEZweb対応機種に限る）から録画予約できます（株式会社アイラテの有料サービスです）。

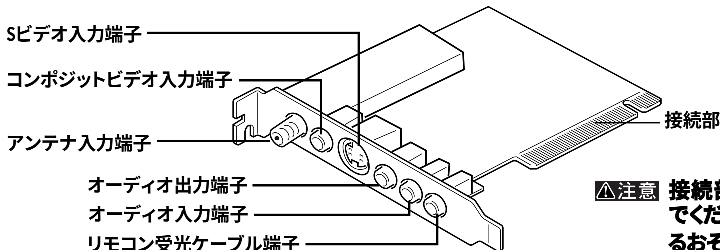
● ライティングソフト機能付編集ソフト同梱
CMカットやDVDオーサリングなどの編集が可能です。

● アンテナ分配器、ケーブル同梱
すぐに使えるようにアンテナ分配器、ケーブルを同梱しています。

パッケージの内容

パッケージには次のものが梱包されています。万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

●PC-MV3/PCI（本体）..1枚



⚠注意 接続部には絶対に触らないでください。本製品が故障するおそれがあります。

●オーディオケーブル（0.2m）............1本
●リモコン..........................1個
●リモコン用受光ケーブル（1m）..........1本
●単4マンガン電池（リモコン用）.........2本
●アンテナ分配器....................1個
●アンテナケーブル（3m、1m）..........各1本
●ユーティリティCD....................1枚
●ユーザーズマニュアル（本書）..........1冊

※ 本製品を梱包している箱には、保証書と本製品の修理ついての条件を定めた約款が記載されています。お客様が無償修理を要求する場合に必要となりますので、大切に保管してください。

※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

本製品を使うための基礎知識

リソースの割り当て

パソコンに機器を増設する場合は、それぞれの機器に「リソース」を割り当てる必要があります。リソースとは、CPUと機器の間で情報をやりとりするためのものであり、パソコンが機器を正しく動作させるために必要なものです。リソースには、割り込み要求(IRQ)、ダイレクト メモリ アクセス(DMA)、I/Oポートアドレスなどがあり、それぞれ数に限りがあります。

リソースは機器ごとに違う値を割り当てる必要があり、他の機器に割り当てられているリソースを割り当てる(リソースが競合する)と機器が正しく動作しません。

PCIバス用ボードはプラグ アンド プレイに対応しているため、BIOSがリソースを自動的に割り当てます。本製品はPCIバス用ボードなので、通常はリソースの設定をする必要がありません。

● プラグ アンド プレイに対応していない拡張ボードを使用している場合

プラグ アンド プレイに対応していない拡張ボード(※1)を使用している場合は、対応していない拡張ボードのリソースをあらかじめ固定してください。DOS/V機の場合はBIOSセットアップ(※2)でリソースを固定します。詳しい方法は、パソコン本体のマニュアルを参照してください。

例として、「AWARD BIOS」を搭載したDOS/V機で、ISAバス用ボードに割り当てるIRQを5に固定する方法を説明します(※3)。

※1 DOS/V機のISAバス用ボードには、プラグ アンド プレイに対応していないものがあります。プラグ アンド プレイに対応しているかどうかは、ボードメーカにお問い合わせください。

※2 BIOSセットアップの名称は、パソコンが搭載するBIOSによって異なります。

※3 BIOSセットアップの操作方法や設定項目は、BIOSの種類によって異なります。また、同じ種類のBIOSでも、BIOSのバージョンなどの違いにより異なる場合があります。詳しくは、パソコンのマニュアルを参照してください。

1 パソコンの電源をONにします。画面に「Press DEL to enter SETUP」と表示されたら<Delete>キーを押します。

「CMOS SETUP UTILITY」(BIOSセットアップ)が起動します。

2 「PNP/PCI CONFIGURATON」を選択し、<Enter>キーを押します。

3 「Resources Controlled By」を選択し、<PageUp><PageDown>キーで「Manual」に設定します。

4 「IRQ-5 assigned to :」を選択し、「PCI/ISA PnP」から「Legacy ISA」に<PageUp><PageDown>キーで変更します。

5 <Esc>キーを押します。

6 「SAVE & EXIT SETUP」を選択し、<Enter>キーを押します。

次のページへ続く

7 **「Save to CMOS and EXIT (Y/N)?」と表示されたら<Y>キーを押します。メッセージの後に「y」と表示されているのを確認し、<Enter>キーを押します。**

変更した内容が保存され、BIOSセットアップが終了します。

● 古いパソコンを使用している場合
パソコンに搭載されているBIOSが古いため、プラグ アンド プレイが正しく働かないことがあります。この場合は、BIOSをアップデートしてください。BIOSのアップデート方法は、パソコンメーカにお問い合わせください。機種によってはBIOSのアップデートが行えない場合があります。また弊社でも、PCパワーアップ宅配便でBIOSのアップデートを承っております(PCパワーアップ宅配便は有料サービスです)。

● どうしてもリソースの競合が回避できない場合
本製品を含む各PCIバス用ボードを取り付けるスロットの位置を変更してください。また、使用していない機器をパソコンから取り外してください。

PC98-NX シリーズでの使用

● CyberTrio-NXがインストールされている機種では、CyberTrio-NXをアドバンストモード以外のモードで使用していると、本製品のドライバをインストールできないことがあります。パソコンのマニュアルを参照し、ドライバをインストールする前に、必ずアドバンストモードに変更してください。

メモ CyberTrio-NXとは、パソコンを使う人ごとに、Windowsの動作範囲やアクセスできるフォルダを限定するための機能を持ったソフトです。CyberTrio-NXがインストールされていると、タスクバーにCyberTrio-NXのインジケータが表示されます。詳しくは、パソコン本体のマニュアルを参照してください。

● スリープボタンは使用しないでください。
スリープボタンでのサスペンド/レジューム機能(消費電力を減らすための機能)を使用すると、システムが正常に動作しなくなることがあります。

※ サスペンド/レジューム機能によってシステムが正常に動作しなくなったときは、Windowsを再起動してください。

DMA 設定

ハードディスクがDMA転送(*)をするように設定します。

* CPUを介さずにアクセスする高速な転送方式

※パソコンの機種によってはDMA転送に対応していないものもあります。パソコンのマニュアルを参照してください。

※ PC98-NXシリーズをお使いのときは、次の操作をする前にCyberTrio-NXをアドバンストモードに変更してください。【P10】

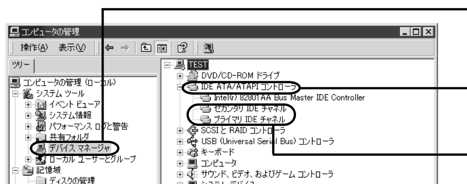
■ WindowsXP/2000 の場合

1 **デスクトップ画面の[マイ コンピュータ]アイコンにマウスのカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックします。**

2 **メニューが表示されたら[管理]をクリックします。**

次のページへ続く

3



① [デバイスマネージャ]をクリックします。

② [IDE ATA/ATAPI コントローラ]をダブルクリックします。

③ ハードディスクを接続しているチャネル(セカンダリまたはプライマリ)をダブルクリックします。

4



① [詳細設定]タブをクリックします。

② [転送モード]の▼をクリックし、[DMA(利用可能な場合)]を選択します。 初期設定では[PIOモード]に設定されています。

※ **ハードディスクをマスタとして接続しているときは、[デバイス0]の設定を変更してください。スレーブとして接続しているときは、[デバイス1]の設定を変更してください。**

③ [OK]ボタンをクリックします。

5 メッセージに従ってシステムを再起動します。

⚠注意 **パソコンの機種によっては、DMA転送に非対応で、ハードディスクのデータが正しく読み出せないことがあります。その場合は、上記の [転送モード] を [PIOモード] に設定してください。**

■ WindowsMe/98SE の場合

1 [ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ]アイコンにマウスカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックします。

2 表示されたメニューから[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]をクリックします。

3 [ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ] ダイアログボックスが表示されたら、[ﾃﾞﾊﾞｲｽ ﾏﾈｰｼﾞｬ]タブをクリックします。

4 [ディスク ドライブ]をダブルクリックします。

5 お使いのハードディスクをダブルクリックします。

1

はじめに

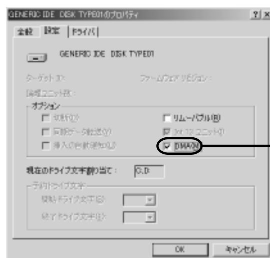
次のページへ続く

6 [（お使いのハードディスク）のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]が表示されたら、[設定] タブをクリックします。

7 [□ DMA]をクリックしてチェックマーク(✓)を付けます。

DMA転送に対応していない機種では、[□ DMA]のチェックボックスがないかグレー表示になっています。

8 [OK] ボタンをクリックし、メッセージに従ってシステムを再起動します。



チェックマーク（✓）を付けます。

⚠注意 お使いのパソコンによっては、DMA転送に設定を変更すると、読み込みが正常にできない、Windowsが正常に起動しないなどの現象が起こることがあります。お使いの環境がDMA転送に対応しているかどうかはパソコンメーカーにご確認ください。このようなときはDMAのチェックボックスのチェックマーク（✓）を外してください。Windowsが起動しない場合は、「困ったときは」の「DMAを設定後、Windowsが起動しない」（P47）を参照してDMAの設定を解除してください。

WindowsMe をお使いの方へ

本製品を取り付ける前にDirectX8.1以降をインストールする必要があります。DirectX8.1以降がインストールされていない場合は、以下の手順でインストールしてください。

1 本製品に添付のユーティリティCDをセットします。

自動的に簡単セットアップの画面が表示されます。表示されない場合は、ユーティリティCD内の アイコン(EASYSETUP.EXE)をダブルクリックしてください。

2 [DirectX8.1のインストール] を選択し、[開始]をクリックします。

以降は画面に従ってインストールしてください。

Windows98SEをお使いの方へ

Windows98SEで本製品をお使いになる場合、付属のCD内の「DRIVERS」フォルダをハードディスクにコピーする必要があります。以下の手順で[DRIVERS]フォルダをハードディスクにコピーしてください。

⚠注意 コピーした[DRIVERS]フォルダは、ドライバのインストールで必要となります。コピーした場所を忘れないようにメモしておいてください。

1 付属のCDをCD-ROMドライブにセットします。

簡単セットアップが起動した場合は、[終了]をクリックしてください。

2 マイコンピュータをダブルクリックします。

3 CD-ROMドライブを右クリックし、[開く]を選択します。

4 [DRIVERS]フォルダをハードディスクにコピーします。

以上で[DRIVERS]フォルダのコピーは終了です。

作業のながれ

次の手順で作業を進めてください。

パソコン→周辺機器の順に電源スイッチをOFFにする

▼

パソコンのカバーを外し、本製品を取り付ける【P14】

▼

カバーを元どおり取り付け、本製品にAV機器を接続する【P15】

▼

周辺機器→パソコンの順に電源スイッチをONにする

▼

本製品のドライバをインストールする【P16】

▼

付属ソフトウェアをインストールする【P23】